

# 電源地域から「ふるさとじまん」をご紹介します。

## 悠久の時を超え、 繰り広げられる平安歴史絵巻

### 茨城県日立市

平安時代から続く七十二年に一度の歴史的行事である西金砂神社・東金砂神社磯出大祭礼において、無形民俗文化財「金砂大田菜」が公開されます。これを受けて日立市では、大田菜等交流日立市支援協議会を組織し、「日立 海と山のまつり」を特別イベントとして実施します。会期は三月二十四日から二十八日。

磯出大祭礼は、八五二(仁寿元)年、日立市の水木浜に金砂の神が出現したという縁起によるもので、金砂山から五百人を超える大行列が、道中「金砂」に、日立市の文化財(国指定重要有形・無形民俗文化財)である「日立風流物」の公開もいたします。




お問い合わせ先 茨城県日立市 観光課 電話 0294-22-3111  
ホームページURL <http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/>

## 「豪快体験!」 「日本一のしもだ鮭まつり」

### 青森県下田町

下田町最大のイベントである「日本一のしもだ鮭まつり」は、毎年十一月の第二土曜日・日曜日の二日間開催され、鮭のつかみ取りやサーモンレース、花火大会など、プログラムは盛りだくさんで、毎年約三万人もの観光客が訪れています。その中でも、もっとも人気のある鮭のつかみ取りは、水しぶきを立てる中、悲鳴や歓声をあげ必死になって鮭を追い回し、豪快に鮭をつかみ取りするものです。子供から大人まで世代を問わず楽しむことができますので、ぜひ一度、ご家族やご友人とお越しください。





お問い合わせ先 青森県下田町産業課内 しもだ鮭まつり実行委員会 電話 0178-56-2111  
ホームページURL <http://www.town.shimoda.aomori.jp>

## 伝統の逸品 大村ずし

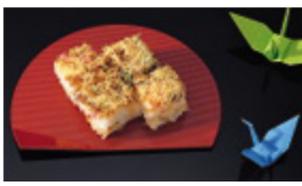
### 長崎県大村市

なだらかなスロープの多良山系を東に仰ぎ、世界初の海上空港が浮かぶ大村湾を西に望む大村市は、春は大村公園の桜に始まり、ツツジ、花菖蒲、多良山系に咲くツクシヤクナゲなど約三カ月もの間、花が楽しめる県内随一の花のまちです。

また、日本初のキリシタン大名となり、長崎開港や天正遣欧少年使節派遣などの業績を残した大村純忠や、幕末には勤皇派として明治維新の偉業達成に重要な役割を演じるなど、歴史のまじりこみも有名です。

大村氏千年余の城下町である大村市には、とれたての魚や季節の山菜など、念願の領地奪回を果たしたことに喜んで領民が、急なことで膳の用意もできず、あり合わせのもろふたに炊き立てのご飯をひろげ、その上に魚の切り身や野菜をのせ、押し寿司にしてもてなしました。これを、将兵たちが脇差で角切りして食べたのが、大村寿司の始まりと言われています。

五百年の伝統を誇るふるさとの味は、現在お土産、祝い事などには、欠かせないものになっています。




お問い合わせ先 長崎県大村市 商工観光課 電話 0957-53-4111  
ホームページURL <http://www.city.omura.nagasaki.jp>

## 世界一大きな夕日の里

### 新潟県出雲崎町

道の駅「越後出雲崎天領の里」は平成六年、町の観光拠点施設として開設され、町直営で天領出雲崎時代館、物産館、レストラン「陣や」を運営しています。

出雲崎町は江戸時代、徳川幕府直轄の天領で七万石を支配する代官所が置かれ、佐渡金山の荷揚げ港、北前船の寄港地、北国街道の宿場として大変賑わったところです。また良寛さんの生まれた地でもあります。

最近、マスコミで「出雲崎から見る夕日は世界一大きく見える」と言われる、と紹介され、全国から多くの観光客が訪れます。

天領の里の物産館は開館以来、積極的に地元特産品の開発と販売に力を入れてまいりました。町内の稲作研究会の生産する有機栽培コシヒカリや、日本一の良質な「えご草」などを全国へ宅配便を中心に販売し、大好評です。






お問い合わせ先 道の駅 越後出雲崎天領の里 電話 0258-78-4000  
ホームページURL <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>

「地域のひろば」編集室では、「ふるさとじまん」を紹介し、皆様の地域の「ふるさとじまん」の写真とコメントをどしどしお寄せください。

お問い合わせ先：電源地域振興センター 企画調査部 広報課 電話 03-5562-9730 e-mail:kouhou@div.dengen.or.jp